

平成29年8月23日

山陽小野田市長 藤田 剛二 様

山陽小野田市基本構想審議会

会長 田 中 剛 男

第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想の案について（答申）

平成28年12月21日付け山企第B2104-12号で諮問のあった第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想の案について、当審議会において審議を重ねました。

審議に当たっては、これまでの第一次総合計画期間における取組の進捗状況や課題を踏まえた上で、この基本構想がこれから12年間における山陽小野田市のまちづくりの指針となるものとの認識に立ち、委員それぞれの立場や経験を基に慎重に審議し、検討してまいりました。

当審議会は、基本構想素案として示された「山陽小野田市の将来像」における「まちづくりの基本理念」、「将来都市像」、「基本目標」をおおむね妥当なものとして認め、これに審議内容を整理し、修正を加えて別添のとおり答申します。

市長におかれましては、この答申を尊重して第二次山陽小野田市総合計画を策定されるとともに、下記の意見を十分配慮して計画の実現に努められるよう要望します。

記

- 1 第一次総合計画期間における取組の進捗状況や課題を十分に踏まえた上で、更なる住みよさの向上に努められたい。
- 2 山陽小野田市立山口東京理科大学、ガラス文化、サッカーなど本市の特色を活かした活力あるまちづくりに努められたい。
- 3 人口減少の抑制に向けて、子育てしやすく、女性に優しく、女性が活躍できるまちづくりなどに努められたい。また、今後は人口減少社会を前提とし

た上で、持続可能なまちを将来にわたって継承していくことができるよう、企業の生産性の向上を図る施策についても検討されたい。

4 定住・移住の推進に向けて、本市の持つ魅力の積極的な発信に努められたい。

5 将来都市像として、山陽小野田市をイメージする色について検討され、市のPR等に活用されたい。

6 「計画の実現に向けて」については、審議会の意見を踏まえた上で、市において表現の再検討を行われたい。